

公募書道展不正行為（最終章）

公募書道展出品規定には、自分で制作した作品を出品してくださいという規定があります。

出品者本人でなく明らか第三者の手によって書かれた作品を出品してしまった人たちがいるという事実。

この卑劣極まりない行為は真摯に作品を制作している出品者や、書道展、シニア書道美術展に足を運び、作品を鑑賞する世間一般の市民の期待と信頼を大きく裏切るものです。

「書は人なり」という言葉が表す通り、書の作品には、一貫してその書き手にしか生み出すことができない筆跡、趣、作風が宿ります。

線、字形のバランス、文字の間隔、点画の接し方、連勢、筆勢、筆癖を意識して閲覧した時、出品者名は個々であるにもかかわらず、同一人物が書いたものと容易に判断できる作品が複数存在することを前にも述べましたが

出品者は

- ・どのよな気持ちで出品
- ・どのよな気持ちで会場、授賞式、祝賀会に
出品者よ。

企画、運営委員審査委員は

- ・いい作品を選ぶ、その前にやるべきことが
- ・目の前に同じ人が書いた作品三点があっても
- ・弟子の作品と師匠の作品が判別できなかったのか
- ・同じ社中、団体の審査委員だからできたのか
- ・企画、運営委員審査員の能力、責任は

漢字企画審査委員、漢字運営委委員よ。

主催者は

- ・主催者は何も知らない、言えないのか
- ・クロスオーナーシップ

主催者よ。

真摯に作品を制作している出品者に対する冒涇であり、そればかりか、公募展に足を運び、作品を鑑賞する世間一般の市民の期待と信頼を大きく裏切るものです。

残念です。

最後に会員の皆様、書作品は正直です。書を大いに楽しみましょう。